

5年算数「平行四辺形と三角形の面積」

第5時(9時間取り扱い)

三角形の面積を求めるために必要な高さの理解を深める！

本時の授業の概要

前時において考えた三角形の面積の求め方をもとに、三角形の面積を求める公式を作る。三角形の面積を求めるためにはどの長さが分かるといいのかを考え、公式にまとめ、三角形の面積の求め方の理解を深める。

本時の目標

三角形の面積を求める公式を考えることができる。

活用場面

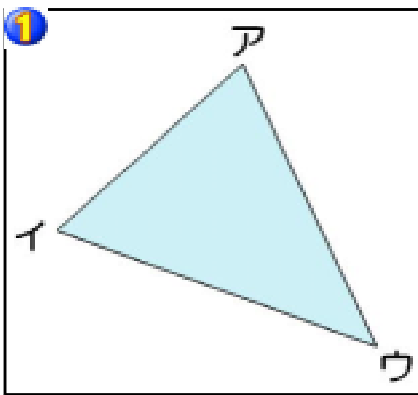
課題発見

見通し

一般化

まとめ

習熟



高さがどこになるのか確認する

① T : 三角形の面積を求めるには、底辺と高さの長さが必要です。辺イウを底辺にすると、高さはどの部分ですか。

C : (実際にさしながら)ここです。

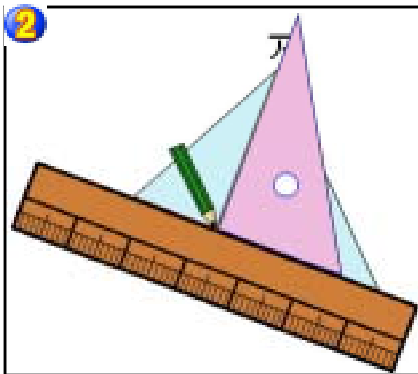
T : 高さがどこなのか、言葉で言えますか。

C : 頂点アをとおり、底辺イウに垂直な部分です。

T : どのようにして高さを求めますか

C : 底辺に三角定規をおき、もう1つ三角定規をおき、頂点アを通るように線を引く。

T : 確認してみましょう。

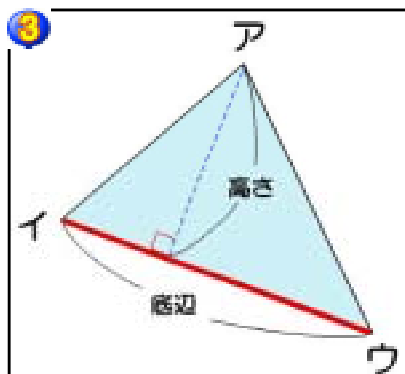


三角形の面積の公式を確認する

③ T : 底辺と高さを使って、どんな三角形の面積の公式ができましたか

C : 底辺 × 高さ ÷ 2

T : 方眼がないと、どこが高さなのかわからなくなってしまう。高さがどこなのか、どうやって見つけるのかきちんと理解しておきましょう。公式を忘れても、やり方をしっかり理解していると面積を求めることができます。



【ワンポイントアドバイス】

方眼がある場合は高さを捉えやすいが、方眼がなくなると高さを捉えることが難しい。高さは底辺と垂直になっていることを確実におさえたい。

公式を覚えるだけでなく、どうして公式が使えるかを理解していることの大切さを伝えたい。

【サイト情報】

http://kids.gakken.co.jp/campus/academy/amagasaki/h13-14/contents/vol1/p94_02.html

(尼崎デジタルコンテンツ研究会)